

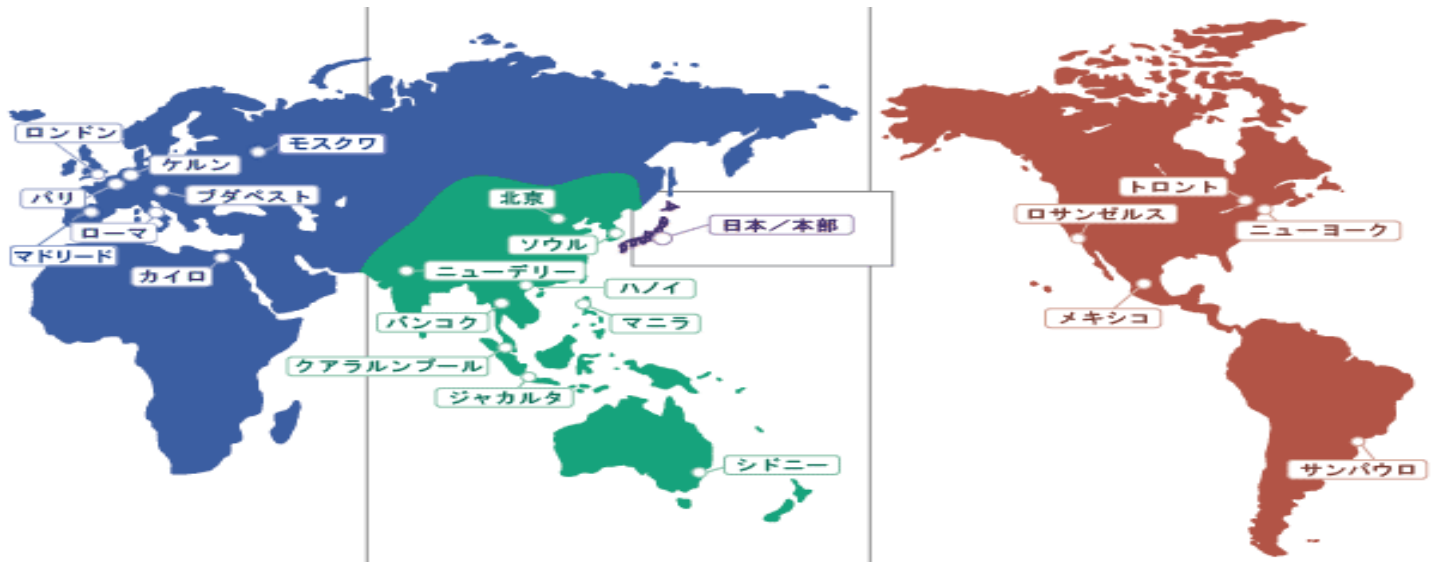
国際交流基金
“日本語パートナーズ”
派遣事業について



国際交流基金の組織及び事業

1972年に外務省所管の特殊法人として設立、2003年に独立行政法人に移行

- 組織: 国内: 本部、京都支部、日本語国際センター、関西国際センター
海外: 21カ国に22の海外拠点を設置 (2015年現在)
- 事業: 世界の人々と日本の人々の間で相互理解を深めるため、文化芸術交流、
日本研究・知的交流、海外での日本語教育の3分野で活動
特に日本語は相互理解促進の鍵
- 海外拠点:



日本語専門家等派遣事業



派遣先: インドネシア教育大学

海外の教師等を対象にした研修



日本語国際センター(埼玉)

日本語能力試験(JLPT)

海外66の国・地域、213都市において、
日本語能力試験を実施(2014年度)。

海外における試験受験者数
約45万人(国内を含めると約59万人)

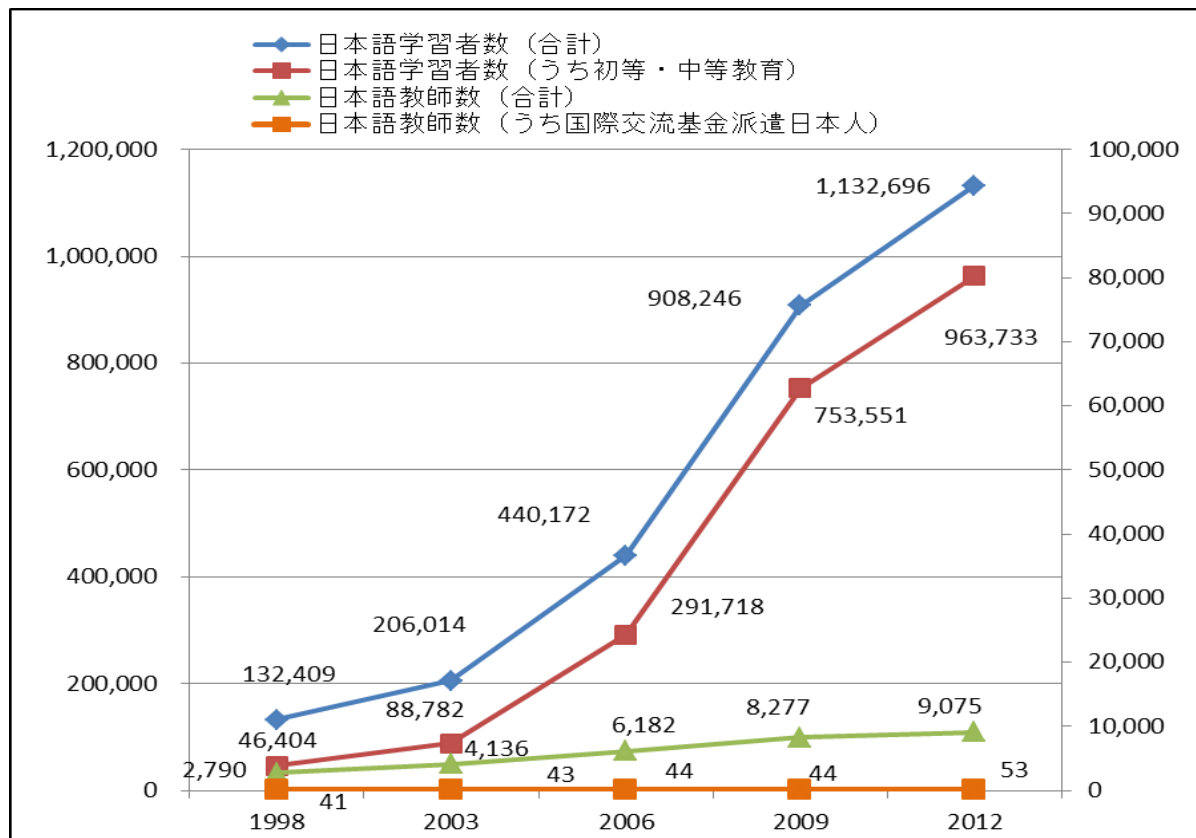


試験会場(ブラジル)

海外の日本語教育の状況

海外日本語学習者の総数は399万人。このうち113万人が東南アジア地域

日本語学習者数と日本語教師数の推移(東南アジア)



【出典】：国際交流基金
事業実績、海外日本語
教育機関調査
※2012年のデータは速
報値(暫定値)に基づく
もの

日本語人材の需要増、学習者数の伸びに教師数が追いついていない状況

日本語学習支援～“日本語パートナーズ”派遣事業

2020年までに3000人以上のシニア・学生等の人材を、現地の日本語教師や生徒の日本語学習のパートナーとしてASEAN諸国に派遣。

- 各国の主として高校で、現地教師のアシスタントとして
日本語教育を支援する
- 派遣先校の生徒や地域の人たちに日本文化の紹介を通じた交流活動を行う
- 現地の言語、文化を学び
日本社会に発信する
- 6ヶ月から10ヶ月の派遣



日本語パートナーズ応募要件

- 満20歳から満69歳で
日本国籍を有する方
- 日常英会話ができる方
- 派遣前研修(約1か月間)へ
全日参加できる方
- 心身ともに健康な方

など



これまでの派遣実績と予定

昨年度は、インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア、ベトナムに計100名を派遣。

今年度は、昨年度派遣国に加えミャンマー、シンガポールなどにも派遣。

来年度派遣予定のパートナーズ募集を10月から開始予定
詳細は今後ウェブサイトに掲載予定(www.jfac.jp)



おわり

ASIA
center
JAPAN FOUNDATION